

(資 料 提 供)
令和 5 年 7 月 3 日
健康福祉部企画調整室
次長 小林
TEL (外線) 076-225-1412
(内線) 4020

石川県令和 4 年 8 月大雨災害義援金第二次配分について

石川県令和 4 年 8 月大雨災害義援金配分委員会において、書面決議した結果、第二次配分計画を別紙のとおり決定しましたので、お知らせします。

義援金は、市町を通じて被災された方々にお届けし、配分後の残額は、石川県県民ボランティア基金へ積み立てます。

石川県令和4年8月大雨災害義援金第二次配分計画

1 基本方針

配分に当たっては、義援金をお寄せいただいた方々のご厚志が被災者の皆様に伝わり、新たな生活に向けた動機付けとなるよう広く配分する。

2 義援金総額

143,889千円（うち108,930千円を第一次配分済み）

3 配分対象

令和4年8月発生の大雨災害により、以下の被害を受けられた方
人的被害：重傷者
住家被害：全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、一部損壊（床上浸水）

4 配分の考え方

- 第一次配分後の義援金額を勘案し、被害の程度に応じて配分単価を決定。
- 第二次配分では、住家被害の程度が大きい床上浸水以上を対象とする。
- 配分残額は、石川県県民ボランティア基金に積み立てる。

5 配分基準

区分	件数 (A)	義援金単価 (B)			配分額 (A) × (B)		
		第一次 配分	第二次 配分	計	第一次 配分	第二次 配分	計
重傷者	2	210	70	280	420	140	560
全壊	25	890	300	1,190	22,250	7,500	29,750
大規模半壊	30	670	220	890	20,100	6,600	26,700
中規模半壊	71	450	150	600	31,950	10,650	42,600
半壊	77	220	80	300	16,940	6,160	23,100
準半壊	107	90	30	120	9,630	3,210	12,840
一部損壊（床上浸水）	42	20	10	30	840	420	1,260
一部損壊（床下浸水・浸水以外）	680	10	0	10	6,800	0	6,800
計	1,034	—	—	—	108,930	34,680	143,610

配分残額279千円（143,889千円-143,610千円）はボランティア基金に積立て

6 配分の時期・方法

- 配分計画決定後、速やかに配分を行う。（7月中に市町を經由して口座振込）
- 独自に義援金を募集している小松市は、県配分額に市配分額を加えて交付

石川県令和4年8月大雨災害義援金配分委員会委員名簿

区分	氏名	役職名	備考
学識経験者	武田 公子	国立大学法人金沢大学 人間社会研究域 経済学経営学系 教授	会長
	麻生 小夜	弁護士	副会長
被災市町代表	茶谷 義隆	七尾市長	
	宮橋 勝栄	小松市長	
	田村 敏和	白山市長	
関係団体	中川 一成	石川県町会区長会連合会 会長	
	永下 和博	社会福祉法人石川県社会福祉協議会 専務理事	
義援金受付団体	表 正人	日本赤十字社石川県支部 事務局長	
	永下 和博	社会福祉法人石川県共同募金会 専務理事	
	柚森 直弘	石川県健康福祉部長	